



「ふるさとを愛し、
生きていく力を育む萩っ子」の育成を目指します

家庭学習って？（2学期終業式・校長の言葉より抜粋）

校長 河村 康郎

家庭学習と言うと、どんなものを想像しますか？昨年までの高萩中学校では、家庭学習をノートにやって、毎日、提出することを課していました。しかし、今年から、家庭学習ノートの提出を一律に求めることはやめました。その理由はいくつかあります。

- ①家に帰ってからの時間は平等ではないということ。帰ってから習い事やクラブチームに行き、遅くに帰宅する人もいます。
- ②勉強方法は人それぞれであること。ノートに学習するのもひとつの方法だと思いますが、塾で学習している人、タブレットで学習している人、人それぞれだと思えます。
- ③やらされている家庭学習ノートの内容は質が低いということ。提出することが目標となってしまう生徒もいました。提出を求める側、求められる側、人間関係が良くない方向に向かってしまいます。

以上のような理由から、今年度、家庭学習ノートの提出を求めないこととしました。しかし、家庭学習をやらなくてよいとしたわけではありません。様々な方法で家庭学習を行ってほしいと思います。そのために、先生たちは、どのように勉強をすればよいか、各教科からアドバイスします。生徒の皆さんが興味を持てるように授業を工夫します。

まだ、はじめの一步を踏み出せていない人、何を勉強すればよいか考えてみてください。得意な教科があれば、その教科からでも良いでしょう。得意な教科がないという人は、どれか一つ、できそうな教科や苦手な教科からでも良いと思います。

日高市は、3年生全員が英語検定を受けられるように受検費用を負担してくれます。生徒全員分のeライブラリーの使用料も負担してくれています。どこの市もそのように負担してくれているわけではありません。これをやらされていると思うのは、残念なことです。大いに活用しましょう。誰のための家庭学習ですか？自分のための家庭学習です。皆さんはこれから生涯学び続けます。やらされる家庭学習から脱却しましょう。

この冬休み、自分なりの家庭学習を行ってください。3年生にとっては大事な冬休みとなります。精一杯努力してください。苦しさの中にも学ぶ楽しさを感じることもできると思います。応援しています。頑張ってください。

☆保護者の皆様へ

学校評価へのご協力をありがとうございました。いただいた全ての意見について、対応することはできませんが、検討は行っています。

2024年はたいへんお世話になりました。良いお年をお迎えください。2025年もよろしく願いいたします。

